

FAX報告

島原中心市街地街づくり推進協議会 〒855-0045 島原市上の町 927-14 森岳商店街内事務局	電話 0957-62-4414 電話 090-2587-4622 (松坂) FAX 0957-62-4412	
●内容：役員会の報告	●枚数（この用紙を含む）3枚	●発信日付 2021年8月21日

役員各位

島原中心市街地街づくり推進協議会
会長 隈部政博

役員会のご報告

前略。先般実施しました役員会の報告です。今後の島原の街づくりに関わる重要な話題も含まれますので、近日開催予定の総会に向けて、途中経過を報告します。

去る7月30日（金）午後7時30分より、霊丘公民館3階ホールにて、役員会を開催。コロナ対応で足踏み状態だったこれまでの活動経過を報告共有し、現状の課題を踏まえて新年度の活動をどのように進めるかを話し合いました。

昨年度（令和2年度）は、まさにコロナ一色の年度で、例年の主な事業であるまちづくり講演会も視察研修も実施できませんでした。そのために例年46万円頂いている補助金が減額（→20万円）となりました。総会も開催せず、市長に堀部邸活用やイオン存続についての提言を届けたこと、一部の研究会活動と会を維持する程度で、郵便による報告に終わっていました。

今年度も、既に夏になっていますが、中心市街地の課題は山積（後述）しており、引き続き活動を続けるべきと認識を新たにしました。総会も（少人数参加であっても）キチンと開催して、情報を共有して新年度事業を展開しようという事になりました。

堀部邸ワーケーション事業の進捗状況、イオン建て替えに伴う道路付け替え状況、その他問題点を確認しました。（以下、主なもの）

- ① このままでいくと新イオンにはバスターミナル機能は無くなるどころか、最寄りのバス停は税務署前となり、当初想定していたバスとの連絡機能が危うくなっていること。
- ② 万町・中堀町両商店街から、アーケード内空き地空き家が増え、駐車場や住居が建ちはじめ、その駐車場の出入口がアーケードに向くなど「歩行者が安心して歩ける環境」が、脅かされている。なんとかならないか、と問題提起。
- ③ 堀部邸は、全国14社からの設計プロポーザル応募で関心の高さがうかがえること、次はその運営組織を公募する段階にきていること（※）。中心市街地に点在する登録有形文化財建物を有機的につなげる工夫が求められていること。
- ④ 総会は「ミニ講座」のようなものを組み合わせ、形式的に終わらせることなく、関心を高め、一般市民にも呼び掛けてはどうか。

など、色んな課題が浮き彫りになりました。

※「堀部邸」については、事務局の思い違いがありましたので、ここで補足しておきます。

懸案の堀部邸は市の所有。私ども（推進協議会）もその活用を巡って、堀部邸の価値を広く知ってもらおうと、講演会（山田由香里先生）やパンフレット（『万町湧水さらく』）で訴えてきたところ。このたびワーケーション施設という位置づけでコロナ関連予算での対応が可能という事で、昨秋補正予算計上（7500万円＝国の負担）となり動き出しました。

（事務局思い違いは）この7500万円の設計プロポーザルは役所の示す条件を満たして、今後どのような活用が出来るかの提案（プロポーザル）を含めての設計という事で、14社から勝ち抜いて選ばれた（地元の；市役所新庁舎の設計も担当した）インターメディアさんが施工までやるものと思っていたので、早くその完成イメージを共有して、次の段階「運営事業者」選定に向けて（例えば地元の有志が「私たちが運営する!」と立ち上がる、とか）呼びかけるべきと、本会も位置付けていたのです。

ところが、設計と施工は切り離されていて、インターメディアさんは設計までで、施工はこのたび（8月18日）別に一般競争入札があって、これからの工事になります。（星野建設さんが落札されました。）

いずれにしても、今年度中に完成するので、今年度中に、次の段階「運営事業者の選定」に向かいます。私たちが、早く設計プロポーザルの結果（そのイメージ図）を示してほしいという事に対応しなかったのは、この施工の入札があったからのようです。現時点ではすでに施工者も決定していますので、設計情報の公開は解禁されることとなります。

事務局勘違いは**2段階（①設計・施工②運営）**で、実は**3段階（①設計②施工③運営）**という事だったという事。本来、設計プロポーザルは「どのような運営をするのか」が含まれているのですから、設計から運営までつながっているわけで、細切れにせず、一つの団体でやるのが筋が通っているのかもしれない。

いずれにしても、堀部邸の運営活用はこれからなので、注意深く見守っていかねばなりません。

島原中心市街地街づくり推進協議会（令和3年度）総会

9月3日（金）午後7時～9時

万町サンプラザホール（1階ホール）

内容：総会議事（事業報告／事業計画／事業予算 会員募集）

ミニ講座（講師：浜野彰氏 「堀部邸の今後と外から見た島原の可能性」）

◎一般にも呼び掛ける予定です。

という事で、予定を組みました。

日程調整が完了したとたんに、長崎県が『ステージ5』の警戒要請を発出しました。

延期等の可能性もありますが、役員皆様には、とりあえず、予定に入れていただけるようお知らせします。近日中に「総会案内」をお送りします。

（文責：事務局：松坂）

現段階の新年度計画案を添付いたします。

令和3年度 事業計画（案）

1. 以下の項目を調査・検証し、具体的な提案（報告）をする。

- ①島原城周辺構想
- ②水頭通り及びイオン周辺の構想 バス乗り入れ問題
- ③堀部邸の活用 運営主体発掘
- ④文化財活用について 小早川邸、樋口正郎邸 堀部邸 ほか
- ⑤築城400年にむけて
- ⑥アーケードの歩行者優先運営について

2. これまでの活動記録を整理して共有する。若い世代の『まちづくり気運』を高める。

以上の計画を進めるにあたって

1. 会議等の開催

総会、役員会、各研究会正副委員長・事務局会議等を開催する。

2. 各研究会の開催

各研究会は、それぞれの研究調査だけでなく、具体的提言・提案をまとめる。

（公募を含めて）会員拡大に努め、各研究会の垣根を越えて往来する。

※「築城400年」についての研究会は設置しないが、せっかくの盛り上げイベントなので、各研究会活動で、「築城400年」をキーワードにして意識高揚に努める。

◆森岳街づくり研究会

『島原城周辺構想』（無電柱化と遊歩道）提言をまとめる。駅前開発の提案も考える。
築城400年構想とりまとめの担当研究会とする。

◆中央地区活性化研究会

◆市有地利活用研究会

◆鯉の泳ぐまち地区研究会

三研究会連携して『水頭通り及びイオン周辺の構想』を具体化する。
引き続き情報収集に努め、イオン・島鉄との連携を図る。

◆堀部邸活用研究会

市が進めるワーケーション施設としての堀部邸の活用に協力、今後の運営に向けて世論醸成。
これまでの堀部邸研究（講演会と調査）及び、『島原万町さらく』活用のイベントも組み合わせる。

◆文化財登録研究会

登録有形文化財（白土町・加美町・桜町・有明町・門内町・湊新地町・城内）登録。

長崎県景観資産登録。歴史的建造物調査の実施。

本年度は、小早川邸・銀水（浜の川）の調査結果をまとめる。できれば加美町・白土湖通りも。

3. 視察研修の実施

・これまでの成果を発表する意味で、市内の湧水や歴史的建造物を巡る「街並ウォッチング」イベント形式の視察研修として、広く市民の啓発に努め、同志を募る。

※一昨年度、昨年度、新型コロナウイルス対応で、視察を中止した経緯を踏まえて、市民の期待を裏切らないような市民参加型を模索する。（市内で実施、リモート参加の可能性を探る）

- ・『島原万町さらく』（トレイルマップ）＝一昨年度成果物を活用する。
- ・『めぐりんバスチケット』を活用する。

4. 講演会の開催

登録有形文化財建物など、歴史的建造物の活用その他島原中心市街地の活性化に資する内容の講演会を実施する。

本協議会会員だけでなく、広く市民にも参加を呼びかける。

地域おこし協力隊など、行政関係の若い世代にも呼びかける。

5. 事業

・アーケード商店街実態調査、関係法規の研究。商店街未来イメージ図作成。

・各研究会経過をホームページに反映。未整理の過去の成果も。（事務局）

・会員拡大